

第5回二宮町ウィークエンドワークショップの報告

3月12日（日）午後1時半から第5回ウィークエンドワークショップを行いました。

ウィークエンドワークショップでは、これまで「一色小学校の有効活用」についてアイデアを出してきました。3月12日は、これまでの意見を整理し「(仮称)一色小学校の余裕教室の利活用グランドデザイン案」として以下の様に整理しました。

ウィークエンドワークショップの参加者で、この案に賛同いただける方の連名で最終提案書とし、一色小学校の校区のまちづくりに関係する団体や町民組織等の会合などで提案していこう、ということになりました。

「(仮称)一色小学校の余裕教室の利活用グランドデザイン」案

平成28年〇月〇日

一色小学校の校区では、少子化、高齢化が進み、人口も減少しています。それに伴い一色小学校では、一学年1～2クラスとなっており、余裕教室が生まれていると想定されます。一方、小学校は、私たちにとって精神的にも物理的にも地域コミュニティの“核”であり“支え”であることから、一色小学校の余裕教室を活用した持続可能な地域コミュニティづくりのアイデアを出し合い、次のようなグランドデザインをまとめましたのでご検討下さい。

- 一、一色小学校の余裕教室を地域のサロン、学童保育所等として活用する。
- 二、学校教育の場としての小学校施設と地域で活用する教室の区画は区分するとともに、利用時間も区分する。また、管理は地元住民が行い教育委員会や小学校職員の負担を軽減する。
- 三、余裕教室を活用することによって、一色小学校の校区内にある公共施設の統廃合、再配置を行い、維持管理費を低減する取り組みに結びつける。

提案者（賛同いただける参加者の連名）
二宮町ウィークエンドワークショップ参加者